

9. 食道がん

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日										各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ		
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		内視鏡的治療		放射線療法		化学療法		その他		治療について	掲載されている内容		
			開胸手術	胸腔鏡下手術	EMR	ESD	体外照射	小線源治療	光線力療法	治療内容	治療実績	医師の専門分野				
1 消化器内科	19	3	状況 実績	× なし	× なし	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	ESDは27件。進行食道癌に対しては、消化器センター・外科および放射線科と連携して放射線化学療法と外科手術を組み合わせて治療を行なっています。	ア http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html イ http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/cureIndex-contenta	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 消化器外科	11	1	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	年間手術症例約15～20例。開胸・開腹手術を標準術式とするが、症例によっては腹腔鏡や胸腔鏡下の低侵襲手術も導入している。進行食道がんに対しては術前化学療法を積極的に施行、良好な成績が得られつつある。	ア http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html イ http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/cureIndex-contenta	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3 放射線科	8	2	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	× なし	放射線治療とは、臓器を守りながら「がん細胞」に放射線を照射し、縮小させる治療法のことです。様々な療法がありますが、各診療科医師と協同してその時に最適な放射線治療を行うようにしております。	ア http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/cureIndex-contenta イ http://	掲載あり	掲載なし	掲載なし
4			状況 実績										ア http:// イ http://			
5			状況 実績										ア http:// イ http://			

例: 食道がん 昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 食道がん 食道がん
---	-----------------